

平成23年度第1回山梨県後期高齢者医療懇話会議事録

日 時	平成23年8月1日（月）午後2時
場 所	山梨県自治会館 2階 研修室1
出 席 者	被保険者を代表する委員 水上秀克（老人クラブ）・輿水 泉（老人クラブ） 山口 昇（老人クラブ）・米山富子（老人クラブ） 幡島カオル（老人クラブ） 医療関係団体を代表する委員 島田和哉（医師会）・保坂裕幸（歯科医師会） 学識経験者その他の有識者を代表する委員 中澤卓夫（県福祉保健部）・戸田 知（社会福祉協議会） 医療保険者等を代表する委員 池川正美（健康保険協会）・赤岩三郎（健康保険組合連合会） 保坂和則（国保連合会） 広域連合 小野事務局長・三好事務局次長・武井業務課長 小林給付担当リーダー・若尾資格担当リーダー
欠 席 者	なし
傍 聴 人	なし
報道関係者	なし
懇 話 事 項	1 「保険料について」事務局より説明 2 その他 その後、各委員より下記のとおり意見がでた。

記

- 普段の健康診断を含めて健康づくり事業というものが、非常に重要だと考えています。普段から老人会活動の中では、介護の対象にならないような運動を強力に進めています。高齢化が進むと、医療機関にお世話になるが、早期に発見し、早期に治療をすることにより、医療費の節減につながるのではないかと。
- 今年には保険料の改定の年であり私たちには一番重大な節目の年ですので、医療費の問題、収納の問題等が報告されたが、近県の状況等を参考に最終的に保険料を確認していきたい。
- 人間ドックについては、75歳以上の後期高齢者医療部分の健康診断の受診率が低く進んでいないように思われる。予防という観点からもっと市町村に重点的に考えて対応を進めて頂ければよいのではないかと。
- 保険料についてどうするのかではなく、やはり医療費を下げるのがベースですので、山梨県として、医療費を下げる政策に対する提言を懇話会で出せばいいと思います。
- 保険料については、今後国等から方針考え方が示され、試算等を行う中で、提示されますが、まず現状を知る段階ではないかと思えます。

この後期高齢者医療事業制度が、今の民主党政権では廃止するという方針で、平成 21 年の 11 月から検討が進められて今年の 12 月には最終とりまとめがされております。

しかし、取りまとめはされておりますけれども、今の政権の状況ですので、法案が提出出来ない状況で、この先行きどうなるか判らない状況です。

また、一方では社会保障と税一体改革ということで 6 月 30 日にとりまとめが行われており、消費税の増税を絡めた事ですので、今後どうなっていくのか現段階では判りませんが、こういった情報にも関心をもって行きたい。